

令和3年第11回大仙市教育委員会定例会議事録

令和3年第11回大仙市教育委員会定例会を令和3年11月24日(水)午後3時30分から大曲図書館3階視聴覚室において開催した。

出席者

教育長	伊藤雅己
委員	風登森一
	工藤浩一
	中島康
	高見文子
	伊藤勝良

説明員

事務局長	築地高
次長兼教育総務課長	田口広龍
次長兼施設管理課長	讃岐敬司
次長兼教育指導課長	高橋規子
次長兼教育研究所長	山信田浩
次長兼学校給食総合センター所長	佐藤正道
生涯学習課長	大沼利樹
総合図書館長	伊藤ひろみ
総合市民会館長	品川雄喜

書記

教育総務課参事	佐藤到
---------	-----

付議案件

- (1) 議案第44号 令和3年度大仙市一般会計補正予算(第5号)案に関する臨時代理について(教育総務課・生涯学習課)
- (2) 議案第45号 令和3年度大仙市一般会計補正予算(第6号)案に関する臨時代理について(教育指導課・総合市民会館)

伊藤教育長

皆様、お忙しい中、御出席いただきまして誠にありがとうございます。

本日は、全員御出席です。書記に、佐藤参事を指名します。

ただいまから、令和3年第11回大仙市教育委員会定例会を開催いたします。

前回定例会の議事録は、ただいま、委員の皆様からの署名をもって、承認していただきました。

次第の3番、教育長報告に入ります。

今朝、ついに雨にも白いものが混じり、いよいよ冬本番という感じの今日この頃です。新型コロナウイルス感染症については落ち着いた状況が続いており、各学校や公民館をはじめとする社会教育施設では、感染予防の徹底を図りながら通常の活動に戻りつつあると認識しています。特に、各学校では、修学旅行や学習発表会が予定どおりに実施されるなど、児童生徒にとって当たり前の学校生活を取り戻すことができているようで、ほっと一安心しています。冬休みまでの約1か月、しっかり学習のまとめがなされることを期待しているところです。

それでは、資料の1ページを御覧ください。

最初に学校教育関係です。今月は13校を訪問し、これで市内30校全ての学校訪問が終了しました。委員の皆様にも同行いただき、誠にありがとうございます。いずれの学校でも、これまでの学校の営みにより、学校全体が落ち着き、確かな子供たちの育ちが見られたと感じています。

特色ある教育活動として、全県花壇コンクールの表彰式が11月2日に秋田市で行われ、本市の主な入賞は資料に掲載のとおりです。家庭の部で太田地域の後藤圭子さんが、一番上の賞である「県知事賞」の荣誉に輝いております。

なお、中学校の全県の秋季大会については、まだ全ての競技の結果が届いておりませんので、次回改めて報告させていただきます。

研修等については、11月4日に全県市町村教育長等会議が、11月11日に県南地区教育長会議が開催されましたが、臨時議会と重なったために欠席、あるいは代理出席で対応しております。市校長会、校長面談も現在実施しているところです。

社会教育関係については、第38回東北将棋大会並びに第16回大仙市民交流将棋大会が行われました。コロナの影響があり、県外からの参加はありませんでしたが、市内外から60人以上が参加され盛大に開催されています。また、関連イベントとして、大仙市小学生将棋対抗戦が行われ、市内7校から27人が参加し熱戦が展開されています。

部局等との連携行事等については、総合教育会議が開催され、教育委員の皆様にも出席いただき大変有意義な時間となりました。教育大綱については、風登委員からの御意見を参考に、現在、最終調整をしているところです。また、GIGAスクール構想については、市長をはじめ、出席した関係部課長から、現状や今後の計画について一定の理解が得られたものと感じています。

児童生徒の安全・安心面では、新型コロナウイルス感染症も含めて、特に大き

な事案は発生していません。

その他、臨時議会が開催され、各種会計の決算審査等が行われています。また、11月26日からは、第4回市議会定例会が予定されています。

以上で、私からの報告を終わります。

次に、各課・所・館から、行事・事務事業報告をしていただきます。

まず、教育総務課長、お願いします。

教育総務課長

それでは、資料2ページを御覧ください。

教育総務課は4項目記載していますが、1項目目の大仙市議会臨時会についてです。この議会では昨年度の決算状況について審議されましたが、教育委員会関係では、施設管理課所管の校舎等維持補修及び施設整備費（小・中学校費）について、意見が出されています。

内容的には2点あり、1点目は、「優先修繕の要望が各学校から出されていると思うが、学校の修繕を行うに当たっては、どの修繕を行うのか選定基準を明確化し、指標を作成するなどして事業を進め、できるだけ多くの学校が選定されるよう予算を要望してほしい」というもの。それから2点目は、「大規模な修繕につながらないよう早めの手当が必要であるため、定期的に学校を訪問して点検するなどし、日頃から適正な施設管理に努めてほしい」といった内容でした。今後、関係部局と協議しながら、回答することになります。

次に4項目目、今度は市議会定例会があさって26日から来月16日までの予定で開催される予定です。教育委員会関係では予算案を提案しますが、内容につきましては、この後、付議案件のところで説明させていただきます。教育総務課は、以上です。

伊藤教育長

先ほどの意見については、修繕についてもっと頑張れ、という励ましとして受け取っているところです。

次に、施設管理課長、お願いします。

施設管理課長

施設管理課からは、本日、教育厚生常任委員会所管事務調査ということで、刈和野大綱展示場新築工事の現場視察が予定されていましたが、常任委員会の都合により中止となりました。現場は、柱、梁の建て込み工事が終了しており、現在の進捗率は約50%となっています。工期は、来年1月26日までとなりますが、年内には外観が分かるような状態になります。以上です。

伊藤教育長

次に、教育指導課長、お願いします。

教育指導課長

教育指導課からは、10項目挙げております。

そのうち3、4番、修学旅行、学習発表会について、修学旅行は全て新型コロナウイルス感染症のため期日変更した枠組みとなりますが、大曲小をもって今年度無事全ての小学校について終了しております。中学校も既に終了しております。学習発表会も、11月14日の花館小・豊成小をもって終了しております。教育指導課は、以上です。

伊藤教育長

次に、学校給食総合センター所長、お願いします。

学校給食総合センター所長

学校給食総合センターからは、記載の4項目を挙げております。

1番目について、中仙学校給食センター改修工事費の来年度当初予算編成に向け、教育長、局長協議をして事務を進めていく予定です。以上です。

伊藤教育長

次に、生涯学習課長から、各公民館の分も含めて報告をお願いします。

生涯学習課長

生涯学習課の行事は、記載の5項目のとおりです。

そのうち、1番の「第38回東北将棋大会並びに第16回大仙市民交流将棋大会」については、先ほど教育長からも報告がありましたが、11月14日、大曲交流センターを会場に行われ、小学生から一般の方まで64人が参加し、それぞれ熱戦が繰り広げられました。

また、2番の「大仙市小学生将棋対抗戦」については、1番の将棋大会の関連イベントとして同日大曲中央公民館を会場に行われ、市内の7つの小学校から27人が参加しております。小学校ごとに3人1組でチームを作り団体戦を行ったほか、学年ごとの個人戦も行っております。生涯学習課からは以上です。

続いて、各地域の公民館の行事について、主だったものを説明します。

資料は3ページをお願いします。

花館公民館では、7項目記載しております。

そのうち、5番と6番の草木染体験ですが、花館公民館では、大曲地区の社会教育事業として、大曲地域全体又は各地区単位で住民を中心としたイベントを企画・運営しており、第3弾として「草木染体験」を実施しております。ちなみに、第1弾はカブトムシの飼育講座・ブリーダー制度の創出、第2弾はリユース普及事業として、一度使用したものをゴミにせず何度も使う「リユース」の取り組みの推進、そして、第3弾として草木染体験を実施しております。

内容は、雑草などで媒染（ばいせん）液を作り、それを各地区公民館に配付、花館公民館の職員が染め方を伝授して、大曲地区の各公民館において教室開催企画を練っていただくというものです。今回は、四ツ屋小学校での体験と、花館公民館で親子を対象とした体験教室を行っております。

今後、地区公民館の職員への指導を皮切りに、そこから児童クラブ、学校のクラブ活動、保育参観などでの体験教室を企画してまいります。

次に、大綱交流館は、3項目記載しております。

そのうち、1番の「にしせんぼく文化祭」についてですが、11月13、14日の2日間開催し、延べ345人から来場いただいております。

また、2番の「秋田県公民館大会」については、大綱交流館をサテライト会場とし、県大会主会場の横手市民会館とオンラインにより開催され、29人が参加しております。

次に、協和公民館については、記載の4項目のとおりですが、そのうち、3番の「第30回協和地域文化財防火訓練」については、11月11日、唐松神社において、約100人が参加し行われております。秋の「火災予防運動期間」に合わせて防災体制の整備と強化を図ることを目的に、県指定有形文化財の「唐松神社奥殿」を対象として、広域消防本部協和分署をはじめ、消防団協和支団、唐松神社氏子総代、自衛消防隊など、多くの地域の方々から参加いただき、バケツリレーや奥殿への放水訓練を実施しております。

資料4ページを御覧ください。

次に、仙北公民館については、記載の4項目のとおりですが、そのうち、3番の「仙北地域の未来を語る会」については、仙北支所の地域活性化推進室の主催事業ですが、仙北中の2年生6人が、「私たちが10年後も住み続けたい仙北地域」というテーマで発表し、その後3グループ（中学生・地域住民・市職）に分かれてグループ別に意見交換し、グループの意見を発表し合っています。その発表に対し、来賓の副市長・地元議員・仙北中校長から感想等をもらう会でありませぬ。語る会では、地域の歴史（払田柵・池田氏）を学習し観光へと結び付ける発表や、子育て支援・移住者支援に関し、中学生視線とはいえ鋭い感覚での発表が行われ、その場で聞いている方々は驚かされることが多く、大変貴重な考え・意見等を拝聴しております。

次に、太田公民館については、記載の6項目のとおりですが、そのうち、2番の第57回全県花だんコンクール表彰式については、11月2日、秋田市の遊学舎で行われ、知事賞に太田地域の後藤圭子さん、県教育長賞に太田南小学校が受賞されました。後藤さんは、夫の光三さんと花だんづくりをしており、県のコンクールへは39年間継続して応募しております。過去に多数の特別優秀賞を受賞され、今回、知事賞の受賞となりました。

各地域の公民館の主な行事等については以上です。

伊藤教育長

神岡、中仙、南外公民館については資料に掲載のとおりですね。
次に、総合図書館長、お願いします。

総合図書館長

総合図書館では、2項目記載しております。

1番目、11月10日、太田北小学校9人の皆さんから大曲図書館の見学にお出でいただいております。

2番目、11月13日土曜日に「おはなし会」を開催し、14人の参加をいただいております。以上です。

伊藤教育長

次に、総合市民会館長、お願いします。

総合市民会館長

総合市民会館からは、3項目記載しております。

2番について、昨日、定期演奏会が行われ、234人の来場がありました。以上です。

伊藤教育長

以上、各課・所・館から行事・事務事業報告をしていただきました。

ただいまの報告につきまして、委員の皆様から御質問等ございましたら、お願いいたします。

高見委員

南外小学校から招待され、学習発表会を見に行きました。参観者について、昨年まで各家庭の人数制限を2人としていましたが、今回は一家族の人数を増やし、自分の学年だけを見るというスタイルでした。それと並行し、GIGAスクール構想で導入された大型提示装置を別室に設置し、GIGAスクールアシスタントの協力を得てライブ放送をしていたので、生では自分の学年しか見られませんでした。装置での放送を通じて、頑張っているほかの子供たちの様子が見られましたので大変良かったと思います。そうした装置の活用について、保護者や先生方からも同様に好評と感謝の声を聞きましたので御報告いたします。

伊藤教育長

ありがとうございました。教育研究所には、何か同じような情報は入っていませんか。学習発表会やその他で、そうしたICT機器活用の情報はありますか。

教育研究所長

教育研究所の方には、特に入ってきておりません。

教育指導課長

運動会等で、直接見られる人数は制限されていても、大型提示装置でライブ配信的なことをするなど、各学校で工夫しながら活用しているようです。

伊藤教育長

機会を捉え、校長会等でこうした使い方について伝えていきたいと思います。ほかに、何かございませんか。

各委員（なし）

伊藤教育長

よろしいですか。それでは、これで教育長報告を終わらせていただきます。次に、付議案件に入ります。

議案第44号「令和3年度大仙市一般会計補正予算（第5号）案に関する臨時代理について」を議題とします。教育総務課長から順に報告をお願いします。

教育総務課長

それでは、議案第44号「令和3年度大仙市一般会計補正予算（第5号）案に関する臨時代理について」報告いたします。

資料は6ページから10ページまでとなります。

今回の補正予算案は議案第44号の第5号と次の議案の第6号に分かれています。この理由は、第5号の補正予算案は緊急性の高いコロナ対策事業費や人事院勧告に伴う人件費などを内容とし、あさって11月26日から始まる市議会定例会の初日に議決をいただく必要があるため、第6号とは別に編成しているものです。第6号は通常の議会日程により審議され、順調にいけば12月16日、最終日の議決となります。

本案は、教育長が臨時代理として事務処理した案件になります。この補正予算案を市長が市議会に提案するに当たり、教育委員会の意見を求められましたが、教育委員会を招集する時間的余裕がなかったことから、大仙市教育委員会教育長に対する事務の委任等に関する規則第3条第1項の規定により、教育長が臨時代理として同意したため、同条第2項の規定によりこれを報告し、承認を求めるものです。資料8ページを御覧ください。

はじめに、今回の教育委員会関係の一般会計補正予算案の概要について御説明いたします。10款教育費であります。関係項目の補正前の額が、27億676万8,000円、補正額が6,766万2,000円、補正後の額を27億7,443万円とするものです。

補正額の内訳ですが、1項の教育総務費は6,000万円、5項の社会教育費は766万2,000円をそれぞれ増額するものです。

説明欄にある各事業につきましては、所管ごとに説明いたします。

まず、教育総務課からですが、資料9ページを御覧ください。

事業名は、「大仙市学生支援事業費（新型コロナウイルス対策）」です。昨年度に引き続き、実施することにいたしました。補正額は6,000万円で、財源は全て一般財源になります。

1の「事業の目的」について、この事業は、新型コロナウイルスの影響等を踏まえ、経済的に困窮している学生に支援措置を講じ、学生の生活安定に資することを目的としております。

次に、2の「これまでの実績と成果」について、昨年度、学生支援給付金の支給と特産品の発送を実施しました。学生支援給付金は、保護者の元を離れて暮らす県内外の学生1,151人に、1人につき5万円、計5,755万円を支給しました。また、このうち希望する県外学生1,018人に、約5,000円相当の本市の特産品を発送しました。

次に、3の「問題と課題」について、対象者数を概数でしか把握できないことから、周知方法の充実が課題となっております。

次に、4の「A c t」の欄を御覧ください。支援内容は、学生1人につき5万円を支給するものです。表中の支給対象者は、次の(1)と(2)の全ての要件に該当する方となります。(1)として、記載の大学等に進学するために、大仙市内の保護者の元を離れ、在学する学生となります。それから(2)として、申請時に保護者が大仙市に住民登録されていること。これらの要件を満たした方ということになります。

申込方法は二つの方法があり、市のホームページから電子申請していただくか、ホームページにアップしている申込書をダウンロードして必要事項を記入し、必要書類を添付して郵送していただく方法となります。申込期間は、12月1日から来年1月14日までを予定しております。

次に、予算内訳ですが、昨年度の実績から対象者数を1,200人と見込み、6,000万円を計上しております。

給付金の口座振込については、12月14日を1回目として4回か5回とし、2月上旬までには終えたいと考えております。

教育総務課所管は、以上になります。

伊藤教育長

続けて、生涯学習課長、お願いします。

生涯学習課長

生涯学習課所管分について御説明いたします。

資料は、10ページを御覧願います。

10款5項3目10事業「公民館管理費」につきまして、766万2,000円の補正であり、補正後の額を2億1,883万9,000円とするものです。補正額全額一般財源であります。

4の「A c t」を御覧ください。大曲地区の公民館については、令和2年度まで、基幹公民館である花館公民館を除く5つの公民館に、市の正職員1人と会計年度任用職員2人の、合わせて3人ずつ配置されておりました。令和3年度からは、市の再任用職員1人と会計年度任用職員2人の3人体制とする予定でしたが、職員配置の関係上、会計年度任用職員が3人という体制となっております。

今回の補正については、当初予定していた2人の会計年度任用職員を3人体制にしたことに伴い、不足する経費を補正するものであります。また、会計年度任用職員の3人体制としたことによる地域住民へのサービス低下を招かないため、基幹公民館である花館公民館に正職員1人を増員し、5つの公民館の業務をサポートしております。

以上、御説明いたしました。よろしく御審議の上御承認賜われますようお願い申し上げます。

伊藤教育長

ただいまの説明につきまして、委員の皆様から御質問等ございませんでしょうか。

工藤委員

教育総務課の学生支援事業について、周知方法の充実が課題とあります。広報とHPでの周知で、それ以上の方法は難しいと思いますが、昨年と同様に、やはり周知方法が課題となるのでしょうか。

教育総務課長

現段階では、市のHPには議会に遅れず27日から掲載する予定です。市の広報には、12月1日号と1月号にも、申請受付中として掲載する予定です。そのほか、当然のことながらSNSでも掲載する予定です。できるのはこういったところかと思っています。

伊藤教育長

なかなか、限られた方法しかないということですね。

ほかに、関連を含めて何かございますか。

各委員（なし）

伊藤教育長

それでは、本案は報告どおり承認することに御異議ございませんか。

各委員（異議なし）

伊藤教育長

では、異議なしと認め、本案は報告どおり承認することとします。

次に、議案第45号「令和3年度大仙市一般会計補正予算（第6号）案に関する臨時代理について」を議題といたします。教育指導課長から報告をお願いします。

教育指導課長

それでは、議案第45号「令和3年度大仙市一般会計補正予算（第6号）案に関する臨時代理について」報告いたします。資料は、11ページから14ページまでとなります。臨時代理として事務処理した理由については、前の議案と同様です。資料の13ページを御覧ください。

はじめに、一般会計補正予算（第6号）案の概要について御説明いたします。

10款教育費ですが、関係項目の補正前の額が25億4,225万円、補正額が749万2,000円の減、補正後の額を25億3,475万8,000円とするものです。

補正額の内訳ですが、2項の小学校費が142万4,000円、3項の中学校費が146万3,000円をそれぞれ増額するもので、詳しくはこの後、説明させていただきます。また、5項の社会教育費は1,037万9,000円を減額するものですが、これは市民会館の関連事業で、コロナウイルスの影響により、説明欄に記載の事業を中止や延期したことによるものです。

では、14ページを御覧ください。事業名は、「修学旅行キャンセル料支援事業費（新型コロナウイルス対策）（小・中学校費）」です。この事業は、昨年度に引き続き実施することとしたものです。補正額は、小・中学校費合わせて288万7,000円で、財源は一般財源です。

1「Plan」を御覧ください。本事業の目的は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、市内小中学校で計画されている修学旅行の中止、延期又は計画の変更に伴い生ずる旅行代金のキャンセル料、企画料金又は増額料金を補助することにより、保護者の経済的負担の軽減を図るものです。

4「Act」の欄を御覧ください。小学校については、大曲小学校、四ツ屋小学校で期日変更に伴うキャンセル料が発生しました。中学校については、西仙北中学校と協和中学校で日程及び行程変更に伴うキャンセル料、仙北中学校では生徒の同居家族に濃厚接触者が出たことによるキャンセル料1人分、中仙中学校は修学旅行中止によるキャンセル料が発生しました。

以上御報告申し上げましたが、よろしく御審議の上御承認賜りますようお願い申し上げます。

伊藤教育長

社会教育費については、御覧いただいたとおりでよろしいでしょうか。資料にある社会教育費は、事業がなくなったことに伴う減額補正ということです。

ただいまの説明につきまして、委員の皆様から御質問等ございませんでしょうか。

工藤委員

令和2年度からの行程変更に伴うキャンセル料ということで、西仙北中学校と中仙中学校の記載がありますが、去年予定されていたものが行けなかったため、翌年の令和3年に延期されたものですか。

教育指導課長

それもあります。もう一つは、昨年度行程を県内に変えたことによる企画変更料金がかかるそうです。

工藤委員

二通りあるということですね。

事務局長

両校は、中学2年生で行く予定だったところを3年生で行くことに変更しました。

工藤委員

では、2年度に計画したものを、今年度3年生になってから行ったということですね。

伊藤教育長

中仙中は残念ながら中止になっています。

工藤委員

では、西仙北中は、前年度計画を変更したことによるキャンセル料が発生したけれども今年度行けているということですね。なるほど。

事務局長

一度計画すると、やめた時に宿泊費や交通費は何もかからなくなりますが、企画料だけはかかるということです。そのためのキャンセル料になります。

伊藤教育長

中仙中は、結局2回キャンセル料が発生したことになります。

工藤委員

変更分と中止分ということですね。分かりました。

伊藤教育長

キャンセル料については、保護者負担を極力なくしたというものです。このあと、各学校で来年度の計画を立てますので、どのような方向性で行くかを模索していかなければならないと考えているところです。今後のコロナの状況にもよることですので、おそらく各学校は苦慮しながら現状把握や推移の観察に努めているものと思います。

ほかに、ございませんでしょうか。

各委員（なし）

伊藤教育長

それでは、本案は報告どおり承認することに御異議ございませんか。

各委員（異議なし）

伊藤教育長

では、異議なしと認め、本案は、報告どおり承認することとします。

次に、次第の5番、その他に入らせていただきます。

今回、事務局からは特にありませんが、委員の皆様から何かありますでしょうか。

伊藤委員

学校訪問でICTに関連した授業を見えています。タッチペンがあった方がいいと思われる授業がありますので、来年度検討していただければと思います。

また、子どもの生の声などの音声を使った授業では、一斉に出される音が混ざり聞きにくいことと、気を遣って音を小さくすることでも聞きにくいようですので、音声を扱う授業では工夫が必要と感じました。

伊藤教育長

タッチペンと音に関して、現場の考えを教育研究所長お願いします。

教育研究所長

タッチペンに関しては当初から必要の声があり、学校予算で準備して使用している学校が何校かあります。学校の準備状況を考えながら進めていきたいと

思います。

音声を使った授業はあまり見ませんが、音楽で使っている学校はありましたので、現場の声を聞きながら対応したいと思います。

伊藤教育長

両方について、現場の声や現状について把握して対応を検討していくことでお願いします。

風登委員

I C Tに関連して、校内のどこでもタブレットを活用できるようなW i - F i環境整備をとという声があったと思いますが、来年度の予算確保の見通しはいかがでしょうか。

教育研究所長

予算の見通しは不明ですが、今年度ではほぼ普通教室では使える状態になっています。令和4、5年度をかけて、特別教室やできれば体育館も進めていきたいと思っておりますが、配線の工事を含め全館となると難しい面があり、モバイルルーターを有効活用する方法もあるのではないかと考えているところです。

風登委員

体育館でW i - F iを活用するのは体育だけではないと思います。できるだけ頑張っていたきたいと思っております。

もう1点、公民館の利活用のごことで前回の定例会時に工藤委員から要望があったと思いますが、今後コロナワクチンの接種3回目を本市が実施し、やはり接種会場に適しているため仙北ふれあい文化センターを使用するとなると、またしばらく同センターが使えなくなります。仙北地域には公民館は同センターしかないのです、活動やイベント等ができず困るという声を聞きましたが、どのようになるかお聞かせ願えますか。

総合市民会館長

御迷惑をおかけしておりますが、来年も接種会場が同センターとなる可能性はあるかと思っております。市民会館の大・小ホールやドンパルなどを代替会場として利用していただければと思います。

生涯学習課長

仙北地域の生涯学習施設は仙北ふれあい文化センターしかなく、サークル活動等については他地域の施設を利用いただくようお願いしているところです。

仙北の同センターや協和の和ピアは来年度以降も接種会場となることで、サークル活動等ができないという地域の方の声は私どもにも届いております。し

かしながら、大変申し訳ありませんが、やはり他地域の施設の利用をお願いする以外にはないと考えております。

風登委員

そうですね。ただ、聞いているとちょっと気の毒に思いましたので。分かりました。

伊藤教育長

事務局長の方には、3回目のワクチン接種について正式な連絡はまだありませんよね。

事務局長

正式にはまだ来ておりません。いずれ書面で正式な知らせが来るとのことですが、その話の中では、やはり接種会場はこれまでの会場を使って進めたいとのことでした。

中島委員

以前は毎日接種を実施していましたが、今後は土日の実施とし、月火水は使わないという案があります。まだ決まっていないことですが。

伊藤教育長

サークルの方々が非常に困っているという声は、生涯学習課長の方にも届いているようですので、それを踏まえ一生懸命検討しているところだと思います。ワクチン接種は、この御時世に大事なことだと思いますので、少しでもいい方向性になるように検討していきますのでよろしく願いいたします。

ほかに、ございませんでしょうか。

高見委員

I C T使用について、体育館の様子をモニターに映して大変好評だった話をしましたが、やはり先生たちでは技術的に難しいらしく、G I G Aスクールアドバイザーに大変お世話になったとのこと。次年度も、そうした方々の人材を確保し、先生たちをお手伝いしていただければありがたいという声を聞きました。

修学旅行の件ですが、子供たち目線では県内も面白かったという声を聞きました。あまり行くことがない県北で、大人が思うより子どもには新しい発見があったようです。県内に目を向け、身近な所の良さを発見するのも良いのではないかと思います。今後のコロナによる影響は分かりませんが、参考にさせていただければと思います。

伊藤教育長

修学旅行については、子供たちや保護者の声、意義や目的、コロナとの兼ね合いといった面からこのあと学校と相談しながら進めていきたいと思いを思います。

教育研究所に、G I G Aスクールアドバイザーやサポーターについて、現場の声などが届いていましたらお願いします。

教育研究所長

総合教育会議でもお話したとおり、人的支援については単年度予算になっていますが、やはりこのような雇用は現場からも要望されていて、そういう方がいるところほどICT活用が進むというのもあり、もちろん先生たちもレベルアップしていくと思われませんが、人的支援はもう1、2年はついていただければありがたいというのが本音です。

伊藤教育長

思いとしてはそういうところがありますが、やはり予算というものがあり、また、アドバイザー等がいて成果が挙げれば、逆に学校は独り立ちの方向へ行くということもありますので、そのバランスが難しいと感じています。来年度に向けて、協議しながら予算編成を進めていきたいと思いを思います。

ほかに、ございませんでしょうか。

工藤委員

音の出る授業の件ですが、協和小学校ではイヤホンを買ったと思いを思います。みんなで一斉に音を出すと良く聞こえないのでイヤホンを準備したというのを聞きました。

伊藤教育長

ヘッドホンをイメージしていましたが、ではイヤホンを含めて教育研究所で実態把握をお願いします。

工藤委員

先日、西部学校給食センターでおかずが臭うということで、おかずは食べないでくださいということがありました。その後何か動きはありましたか。

学校給食総合センター所長

塩素臭が多いということでしたので、今、東京の方の分析センターに冷凍したものを送り調査しています。結果は一週間ぐらいすれば出てきます。食材の成分については分かりませんが、薬品のような臭いがするということで調べていますので、結果が分かり次第、保護者宛に通知いたします。

工藤委員

分かりました。よろしく申し上げます。

伊藤委員

食缶を開けるときの少々塩素臭がしたという声があり、食事をストップして食べたりはしていませんので何もありませんでしたが、念のため塩素系の検査を東京の方の機関に依頼して調査中です。この一週間ぐらいで結果が出るようです。そもそもの調理の安全についても確認していますので、調理の安全性とともに調査結果をお伝えすることで進めております。

ほかに、ございませんでしょうか。

中島委員

花壇コンクールについて、受賞が全て太田地域ですが、特に太田地域は盛んなのでしょうか。

生涯学習課長

太田地域では、昔から花いっぱい運動という取組を行っていきまして、今回知事賞を受賞された後藤さんは個人で自分の畑を花だんにしたり、味噌樽を鉢植えのようにしたりなど、いろいろと取り組まれています。太田地域では、市主催の花だんコンクールもありますし、中学校でも花だんを綺麗に整備するなど、太田地域全体を花でいっぱいにしてしようという活動がされています。

伊藤教育長

旧太田町時代から、町を挙げて花だんのまちづくりをされています。時期になると太田地域は花でいっぱいになりますので、機会があればドライブなどされることをお勧めします。ちなみに、太田中は東日本大震災の被災地と被災地交流を続けていて、今はコロナの影響がありながらプランタで花だけは送っているようです。

ほかにはよろしいでしょうか。

各委員（なし）

伊藤教育長

それでは、教育総務課長から次回の日程について申し上げます。

教育総務課長

今回は、12月24日金曜日、午後3時30分から、大曲庁舎3階大会議室で開催したいと考えております。よろしく申し上げます。

伊藤教育長

今回は、12月24日金曜日、午後3時30分から、大曲庁舎3階大会議室にて開催、として提案いたします。皆様、よろしいでしょうか。

委員（異議なし）

伊藤教育長

ありがとうございます。次回定例会は、そのように予定いたします。

それでは、これもちまして、定例会を閉じます。

本日はありがとうございました。お疲れ様でした。